

GPSロガーをぶらさげて歩く

砂嘴先端の形状変化

GPSロガーをぶらさげて歩く

ひと月に一度のペースで、砂嘴をひと回りしています。
ヴィジターセンター前を起点、および終点として、可能な限り水際を歩くようにします。

そのときに欠かせないのがGPSロガー。
自分が歩いた軌跡を再現することにより、その日の砂嘴の形状(汀線の形)をほぼ正確に知ることができます。

先端が100mも伸びたり縮んだり、川のほうへと、あるいは海のほうへと膨らんだり、季節によって砂嘴の形がさまざまに揺れ動いているさまを実感できます。